

仮定法理解のポイント

「今日彼女が暇なら、一緒に塾へ勉強しに行こうと誘ってみよう。」・・・(ア)

「今日彼女が暇なら、一緒に塾へ行けたのに。」・・・(イ)

上の二つの日本語の文の「今日彼女が暇なら・・・」という部分は、英語では異なる表現になります。

(ア)の文では、彼女が暇かどうかは話し手にとってまだ不明・不確実なことです。このような場合は、中学校で学習した通り、

If she is free today,・・・

とします。

これに対して、(イ)の文では話し手が、「今日彼女は暇ではないから、一緒に塾には行けない。」と思っていることが察せられます。このような事実に反する仮定の場合は、

If she was free today,・・・

(were が正式だが、was も良く用いられる。)

と表します。

つまり、仮定には「不確実な仮定」と「事実

もちろん仮定法を身につけるには、他にも様々な表現を学び十分に問題練習をしなければいけません。仮定法を理解するための最大のポイントは、上記の点にあります。二種類の仮定の違いを、しっかりつかんで下さい。